

兵庫県下の経済動向

平成23年6月

但馬銀行
TAJIMA BANK

目 次

概 況	1
生 産	2
個人消費	4
設備投資	6
住宅投資	8
公共工事	9
貿 易	10
物 価	11
雇 用	13
信用保証	15
金 融	16
倒 産	17

【概 況】

最近の県内景気は、生産面を中心に下押し圧力がかった状態にあるものの、震災後の落ち込みから徐々に脱しつつある。生産は、東日本地区への供給増を企図した生産積み増しの動きがみられるほか、サプライチェーンの一部復旧等もあって、全体として徐々に回復している。

輸出向け需要は、増勢が強まりつつある中で、震災後の生産活動の低下に伴う影響も徐々に緩和されつつある。個人消費は、一部に弱めの動きがみられるものの、震災後にみられた消費萎縮の動きが和らぎつつあるなど、全体としては緩やかに持ち直しつつある。この間、設備投資は増加計画にある。一方で、住宅投資は持ち直し基調にある中で、資材の調達難により一部に工事遅延等がみられている。雇用・所得環境は、改善傾向に一服感がみられる。公共投資は減少している。

需要面の動きをみると、個人消費は、百貨店売上高が2か月ぶりに前年を下回った。乗用車販売は、エコカー補助金終了の影響により、普通乗用車、小型乗用車、軽自動車とも減少したことから、9か月連続で前年を下回った。家電販売は、スマートフォンの販売が引き続き好調な中で、薄型テレビやレコーダー、省エネ家電などを中心に、全体として持ち直してきている。

設備投資は、非製造業は減少を見込んでいるものの、製造業が増加を見込んでおり、現時点では、2010年度に続き2011年度も増加する計画となっている。

住宅投資は、分譲が増加したものの、持家、貸家が減少したことから、全体では4か月連続で前年を下回った。

公共工事は、兵庫県、国などが増加したものの、神戸市などが減少したことから、6か月連続で前年を下回った。

貿易は、輸出がアジア、米国、EU向けが増加し、16か月連続で前年を上回った。また、輸入については6か月連続で前年を上回った。

生産活動は、鉱工業生産指数でみると、一般機械工業、化学工業、金属製品工業などの上昇により2か月ぶりに上昇した。

雇用関係では、有効求人倍率は前月を下回り、新規求人数は前年を上回った。

また、所定外労働時間は前年を上回ったものの、常用労働者数および一人当たり名目賃金は前年を下回った。

金融情勢は、預金が前年を上回って推移しているものの、貸出については前年を下回って推移している。

企業倒産は、件数および金額とも、前月および前年を下回った。

兵庫DI及び兵庫CIから見た県内の景気動向。

3月の兵庫DIは、先行指数57.1%、一致指数44.4%、遅行指数71.4%となった。

3月の兵庫CIは、先行指数94.3、一致指数94.7、遅行指数101.3となった。

兵庫DIは、先行指数が4か月連続、遅行指数は2か月連続で好不況の判断の分かれ目となる50%を上回ったが、一致指数は4か月ぶりに50%を下回った。

一方、兵庫CIは、先行指数および一致指数が5か月ぶりに前月差減となり、遅行指数は2か月ぶりに前月差減となった。

県統計課は「景気は改善傾向だが、東日本大震災の影響が広がり、今後は横ばいとなる可能性もある」としている。

*兵庫DIと兵庫CI・・・兵庫県の経済指標から景気の状態を導く指数。県景気変動指数(兵庫DI)は50%が好不況の別れ目で、景気の拡張、後退などを判断する。県景気総合指数(兵庫CI)は景気変動の大きさを測定し、指数の前月との差の大小をみる。

資料：兵庫県企画管理部管理局統計課

【生 産】

4月の県鉱工業生産指数(平成17年=100、季節調整済、速報)は97.8、前月比2.1%上昇。出荷指数は95.8、同0.6%上昇。在庫指数は111.7、同0.4%低下。在庫率は117.4、同2.6%上昇。生産指数、出荷指数は2か月ぶりに上昇、在庫指数は5か月ぶりに低下した。

前年同月比(原指数)では、生産が1.7%増で17か月連続で上昇、出荷は0.8%減で17か月ぶりに低下した。また在庫は13.1%増で9か月連続で上昇した。

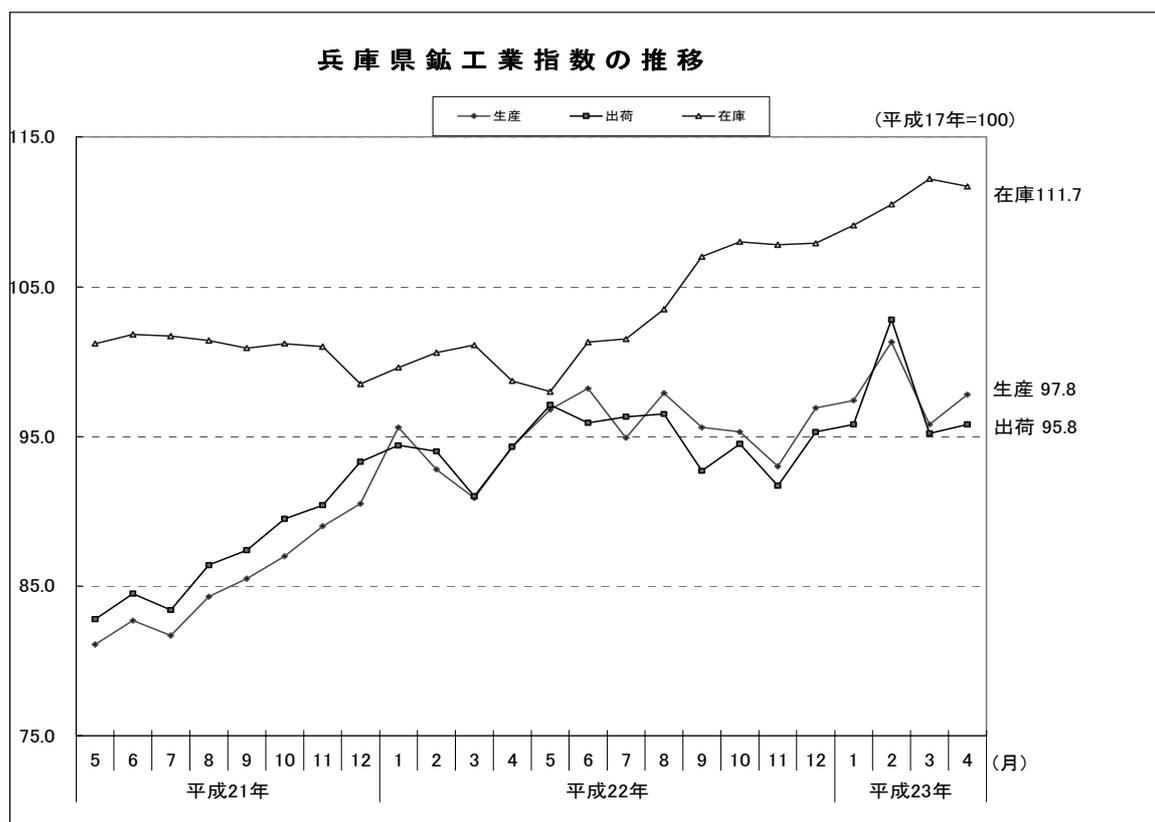
主要業種の生産動向を対前月比で見ると、一般用蒸気タービン部品等の「一般機械」が14.0%、化粧品、医薬品等の「化学」が10.2%、ガス風呂がま等の「金属製品」が9.7%、二輪自動車(125ml超)等の「輸送機械」が4.2%、一般用タービン発電機等の「電気機械」が1.9%、各々上昇したものの、陸上移動通信装置(携帯電話以外)等の「情報通信機械」が38.1%、I G B T、トランス等の「電子部品・デバイス」が10.6%、鍛鋼品等の「鉄鋼」が6.6%、冷凍調理食品、乳飲料等の「食料品」が2.6%、各々低下した。

県統計課は、「総じてみれば兵庫県の生産活動は、横ばいで推移している」としている。

4月の兵庫県鉱工業指数 (速報、平成17年=100)

区 分	季節調整済指数	対前月比増減(%)	原 指 数	
			原指数	対前年同月比増減(%)
生 産	97.8	2.1	93.5	1.7
出 荷	95.8	0.6	89.7	0.8
在 庫	111.7	0.4	109.5	13.1
在 庫 率	117.4	2.6	120.4	7.6

資料：兵庫県企画管理部管理局統計課



4月の県内鉱工業生産指数(主要9業種の動向)

(速報、平成17年=100)

業 種	指 数	対前月比 増減 %	指数の上昇又は低下に寄与した品目	
鉄 鋼	96.4	6.6	上昇	鍛鋼品、大中小形鋼、普通鋼線材、特殊鋼冷間仕上鋼材(磨棒鋼・線類)
			低下	鋼半製品、粗鋼、普通鋼冷延広幅帯鋼、銑鉄
金属製品	89.2	9.7	上昇	ガス風呂がま、ガス温風暖房機、ガス湯沸器、橋りょう
			低下	粉末や金製機械材料、うす板ばね、鋼管製管継手、機械刃物
一般機械	108.9	14.0	上昇	蒸気タービン部品、混合機・かくはん機・粉碎機、超硬エンドミル、プラスチック用金型
			低下	ショベル系掘削機械、一般用蒸気タービン、建設用クレーン、コンベヤ
電気機械	123.7	1.9	上昇	一般用タービン発電機、クッキングヒーター、開閉制御装置、一般用エンジン発電機
			低下	電力変換装置、内燃機関電装品、保護継電器、リチウムイオン蓄電池、
情報通信機械	45.4	38.1	上昇	陸上移動通信装置(携帯電話以外)、モニター(電子計算機用)、無線位置測定装置、基地局通信装置
			低下	パーソナルコンピュータ、カーナビゲーション、レーダ装置、カーオーディオ
電子部品デバイス	160.1	10.6	上昇	IGBT、トランス(コイルを含む)、シリコンウエハ
			低下	PDP モジュール、電界効果型トランジスタ、シリコンダイオード、アクティブ型液晶素子(7.7インチ以上)
輸送機械	66.6	4.2	上昇	二輪自動車(125ml超)、特装ボデー、旅客車、鋼船
			低下	駆動伝道・操縦装置部品、船用蒸気タービン、機関部品、船用ディーゼル機関
化 学	96.5	10.2	上昇	化粧品、医薬品、脂肪酸、アクリル酸エステル
			低下	ポリスチレン、無水酢酸、自動車排気ガス浄化用触媒、二塩化エチレン
食 料 品	99.5	2.6	上昇	冷凍調理食品、乳飲料、配合飼料、米菓
			低下	ビール類、砂糖、パン類、即席めん

資料：兵庫県企画管理部管理局統計課

【個人消費】『百貨店売上』

兵庫県百貨店協会がまとめた5月の県内百貨店売上高は、前年同月比4.3%減の137億93百万円となり、2か月ぶりに前年を下回った。特に神戸地区は、5月4日にJR大阪駅北側で「JR大阪三越伊勢丹」や専門店街「ルクア」が開業したあおりを受けた。しかし、各店は「影響は避けられなかったが、減少幅は想定内の範囲内」としている。

神戸地区では、衣料品や雑貨、食料品などが軒並み下落。大丸神戸店は7.4%減、そごう神戸店は2.1%減、神戸阪急も8.1%減った。そごう神戸店は「むしろ、梅雨入りが平年より早かった影響が大きく、週末に大雨が相次いだことも集客に響いた」と説明した。姫路・加古川地区は、2店あるヤマトヤシキが6.3%減、山陽百貨店は1.3%減。ただ、催事などを強化した山陽百貨店は、紳士、婦人、子供服のいずれも衣料品が伸びた。

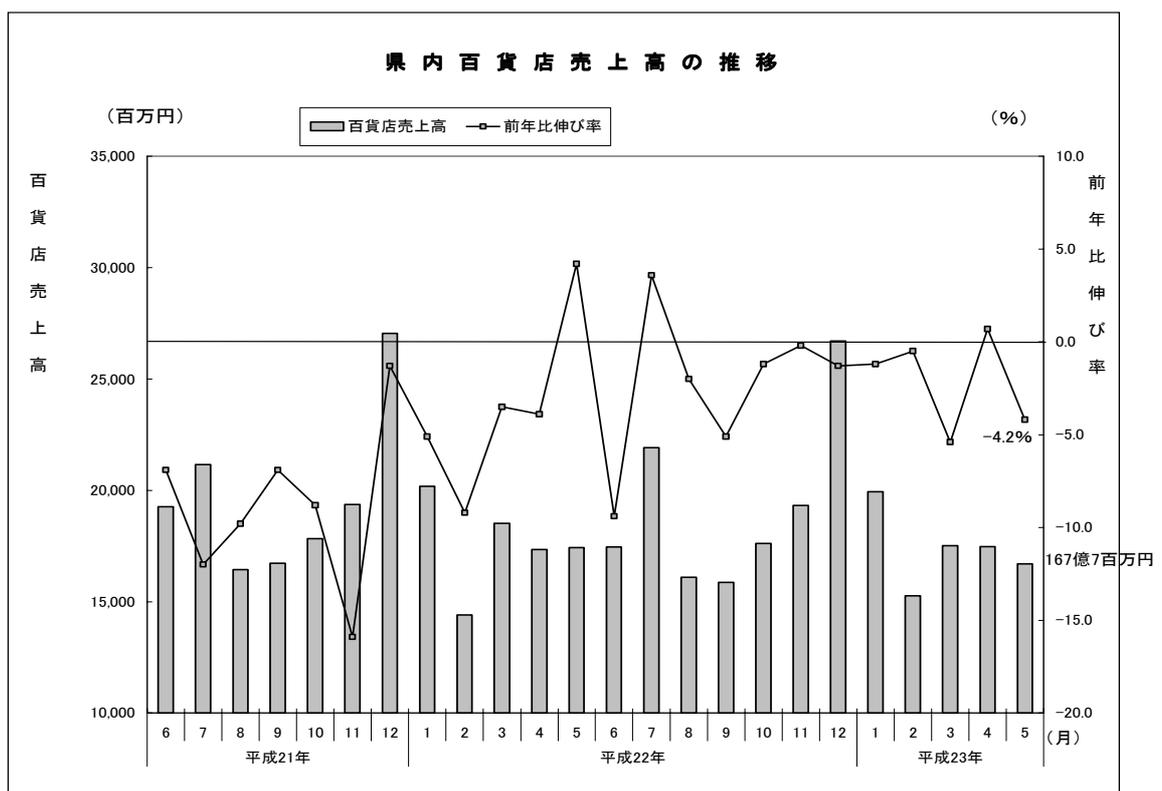
5月の県内百貨店売上高

品目 \ 地区	神戸	姫路	合計
紳士服・洋品	749(12.9)	227(8.0)	977(8.8)
婦人服・洋品	3,935(2.8)	695(2.6)	4,631(2.8)
子供服・洋品	536(3.4)	81(2.6)	618(3.3)
身の回り品	1,645(3.2)	278(8.9)	1,924(4.1)
家庭用品	616(9.1)	168(2.9)	784(6.7)
食料品	3,817(2.8)	761(0.5)	4,579(2.3)
雑貨	1,798(6.3)	404(10.5)	2,202(7.1)
その他	694(4.0)	296(10.6)	991(6.1)
計	13,793(4.3)	2,913(3.5)	16,707(4.2)

* 単位百万円、未満切捨て。()内は前年同月伸び率%

資料：兵庫県百貨店協会

* 神戸地区には芦屋・宝塚、姫路地区には加古川を含む。



【個人消費】『新車登録』

県内5月の乗用車新車登録台数は7,635台、前年同月比33.0%減と9か月連続で前年同月の実績を下回った。エコカー補助金終了の影響によるもの。

5月の乗用車新車登録を車種別にみると、普通乗用車は2,373台(前年同月比43.3%減)、小型乗用車は2,782台(同30.6%減)、軽乗用車は2,480台(同22.4%減)、乗用車合計で7,635台(同33.0%減)となった。

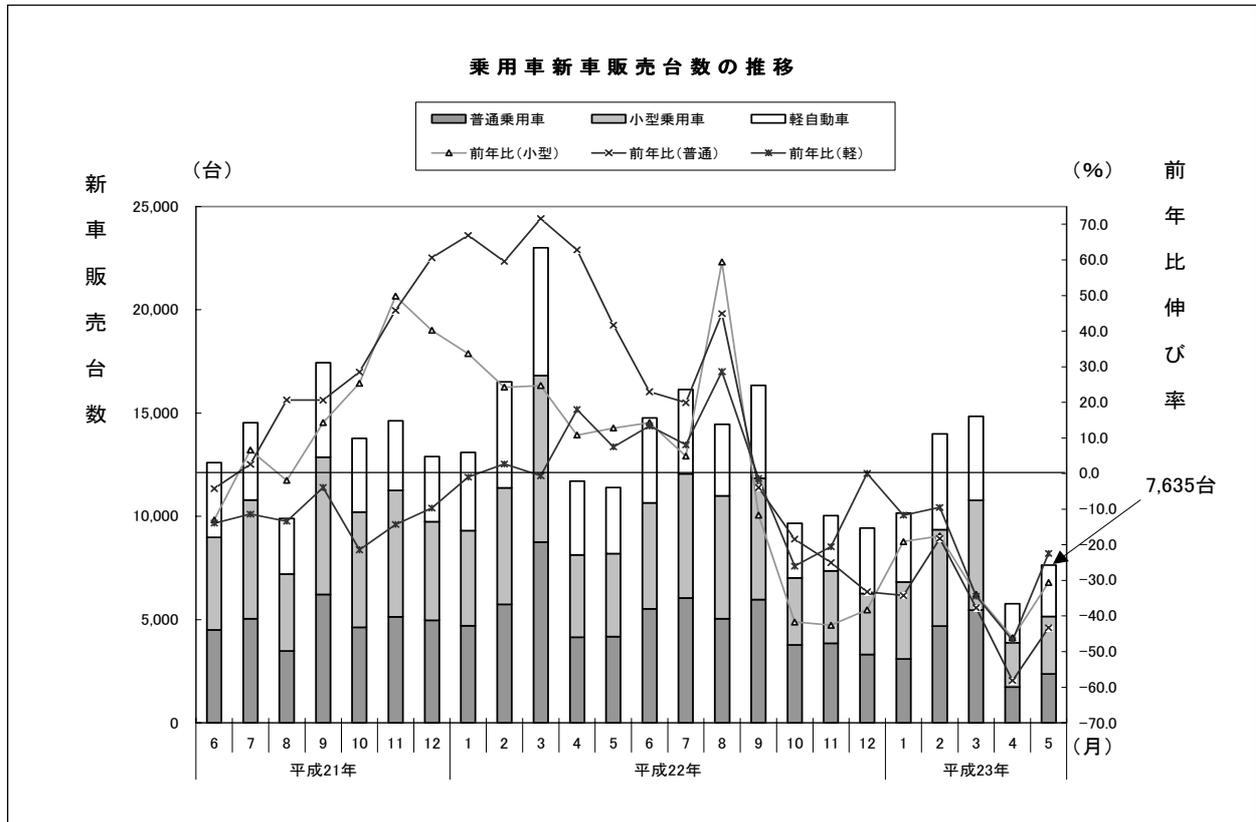
また貨物車等では、普通貨物車は102台(同47.2%減)、小型貨物車は320台(同26.3%減)、軽貨物車は861台(同23.3%減)、バスは6台(同40.0%減)となった。

5月の新車販売(登録)台数

(単位：台、%)

車種	兵庫県	前年同月比	全国	前年同月比
普通乗用車	2,373	43.3	57,292	43.8
小型乗用車	2,782	30.6	71,252	32.4
軽乗用車	2,480	22.4	71,916	23.1
乗用車合計	7,635	33.0	200,460	33.3
普通貨物車	102	47.2	3,716	48.6
小型貨物車	320	26.3	9,609	28.3
軽貨物車	861	23.3	23,292	31.8
貨物車合計	1,283	26.7	36,617	33.2
バス	6	40.0	285	53.2
登録車総計	8,924	32.1	237,362	33.4

資料：自販連兵庫県支部、兵庫県軽自動車協会



【設備投資】

内閣府が6月13日に発表した機械受注統計によると、平成23年4月実績は以下のとおり。

最近の機械受注総額(季節調整値)の動向をみると、23年3月前月比20.4%減の後、4月は同3.1%増の2兆354億円となった。

このうち民間設備投資の先行指標である「船舶・電力を除く民需」は、3月前月比1.0%増の後、4月は同3.3%減の7,119億円となった。

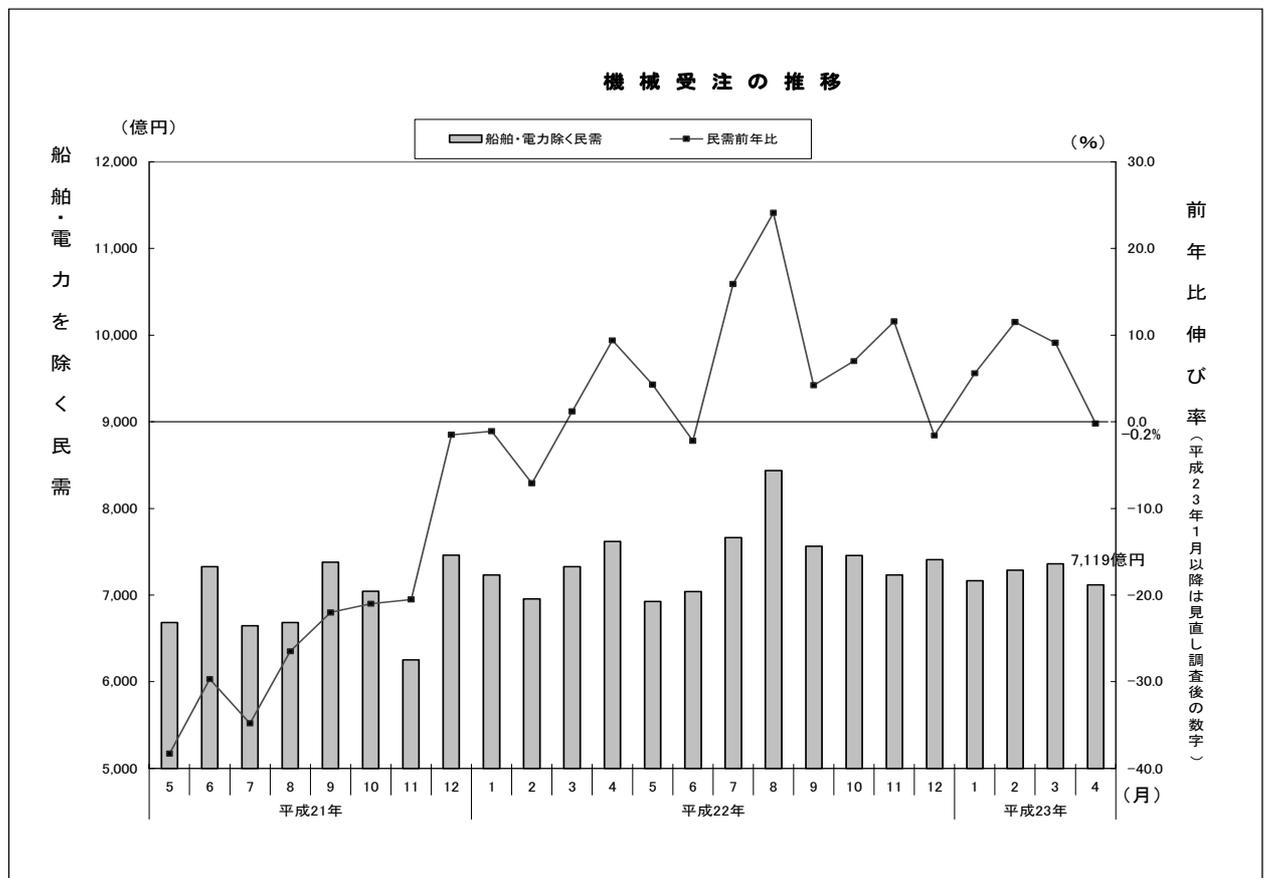
内訳をみると、製造業が同2.7%減の3,194億円、非製造業(船舶・電力を除く)が同2.9%増の4,058億円であった。

製造業民需受注を業種別でみると、前月比で増加したのは17業種中、パルプ・紙・紙加工品(60.7%増) 其他輸送用機械(32.4%増) 情報通信機械(14.2%増) 精密機械(9.7%増)等の7業種で、造船業(81.2%減) 石油製品・石炭製品(38.6%減) 鉄鋼業(29.0%減) 化学工業(25.4%減) 電気機械(17.2%減)等の8業種は減少となった。

一方、非製造業では、前月比で増加したのは12業種中、不動産業(36.7%増) 農林漁業(17.2%増) 情報サービス業(14.4%増) 電力業(4.8%増) リース業(4.5%増)等の8業種で、金融・保険業(32.0%減) 運輸業・郵便業(27.4%減) 卸売・小売業(8.7%減)等の4業種は減少となった。

兵庫県下においては、2011年度設備投資額は、非製造業は減少を見込んでいるものの、製造業が増加を見込んでおり、全産業では増加計画となっている。

* 全国企業短期経済観測調査(短観)結果 2011年3月 兵庫県
設備投資計画：全産業前年度比+4.8% (製造業+10.7%、非製造業 11.6%)



機械受注統計（平成23年4月分）

	22年 4~6月 実績	7~9月 実績	10~12月 実績	1~3月 実績	23年 4~6月 見通し	23年 1月 実績	2月 実績	3月 実績	4月 実績
受注総額	55,749 (0.2) [27.0]	59,380 (6.5) [25.5]	61,589 (3.7) [15.7]	67,789 (10.1) [18.8]	68,215 (0.6) [13.9]	23,254 (15.2) [31.8]	24,793 (6.6) [33.6]	19,742 (-20.4) [4.9]	20,354 (3.1) [3.7]
民需	24,318 (-0.2) [1.2]	26,640 (9.5) [16.1]	26,554 (-0.3) [13.6]	27,362 (3.0) [10.8]	29,108 (6.4) [11.8]	8,876 (-6.8) [13.3]	10,257 (15.6) [32.3]	8,229 (-19.8) [-1.7]	8,461 (2.8) [-3.6]
” (Ex 船・電)	20,457 (1.9) [7.9]	21,596 (5.6) [13.9]	20,660 (-4.3) [5.6]	21,813 (5.6) [8.9]	24,083 (10.4) [9.1]	7,165 (4.0) [5.6]	7,288 (1.7) [11.5]	7,360 (1.0) [9.1]	7,119 (-3.3) [-0.2]
製造業	8,373 (-2.7) [13.1]	9,477 (13.2) [34.4]	9,314 (-1.7) [11.5]	9,807 (5.3) [16.3]	11,275 (15.0) [22.1]	3,212 (3.8) [11.2]	3,310 (3.1) [18.0]	3,285 (-0.8) [18.3]	3,194 (-2.7) [7.4]
非製造業 (Ex 船・電)	11,926 (4.9) [4.3]	12,221 (2.5) [2.3]	11,600 (-5.1) [0.3]	11,761 (1.4) [3.5]	12,814 (9.0) [-0.6]	3,877 (4.8) [0.9]	3,941 (1.6) [6.5]	3,943 (0.1) [3.1]	4,058 (2.9) [-5.2]
官公需	6,705 (-5.1) [-4.8]	6,907 (3.0) [-10.1]	6,715 (-2.8) [2.6]	6,310 (-6.0) [-10.8]	6,366 (0.9) [-6.4]	2,048 (-4.2) [-19.4]	2,237 (9.2) [0.7]	2,026 (-9.4) [-12.6]	2,002 (-1.2) [-16.3]
外需	23,027 (16.5) [94.5]	25,221 (9.5) [54.1]	25,426 (0.8) [22.4]	28,817 (13.3) [43.1]	29,396 (2.0) [19.8]	9,543 (14.1) [72.3]	10,186 (6.7) [50.3]	9,088 (-10.8) [23.2]	8,900 (-2.1) [17.1]
代理店	2,376 (6.0) [32.1]	2,391 (0.6) [21.9]	2,328 (-2.7) [8.9]	2,512 (7.9) [12.3]	2,645 (5.3) [7.2]	843 (8.0) [16.1]	829 (-1.6) [9.4]	839 (1.2) [12.1]	1,035 (23.3) [20.8]

資料：内閣府経済社会総合研究所

- 備考
1. 季節調整系列は個別に季節調整を行っているため、需要者別内訳の合計は全体の季節調整値とは一致しない。
 2. 四半期は合計額、()内は対前期(月)増減率、[]内は原系列による対前年同期(月)増減率。

【住宅投資】

県内4月の新設住宅着工戸数は、総数で2,607戸(前年同月比0.4%減)となり、分譲住宅が増加したものの、持家、貸家が減少し、全体では4か月連続で前年を下回った。また、前月比では78戸の減少となった。

4月の新設住宅着工戸数

(速報、単位：戸、%)

	兵庫県	前年同月比	全国	前年同月比
持家系・持家	734	4.3	23,554	0.2
・分譲住宅	1,231	88.2	20,323	12.4
貸家系・貸家	617	37.7	22,158	9.3
・給与住宅	25	87.9	722	28.0
総数	2,607	0.4	66,757	0.3

資料：兵庫県住宅計画課、国土交通省

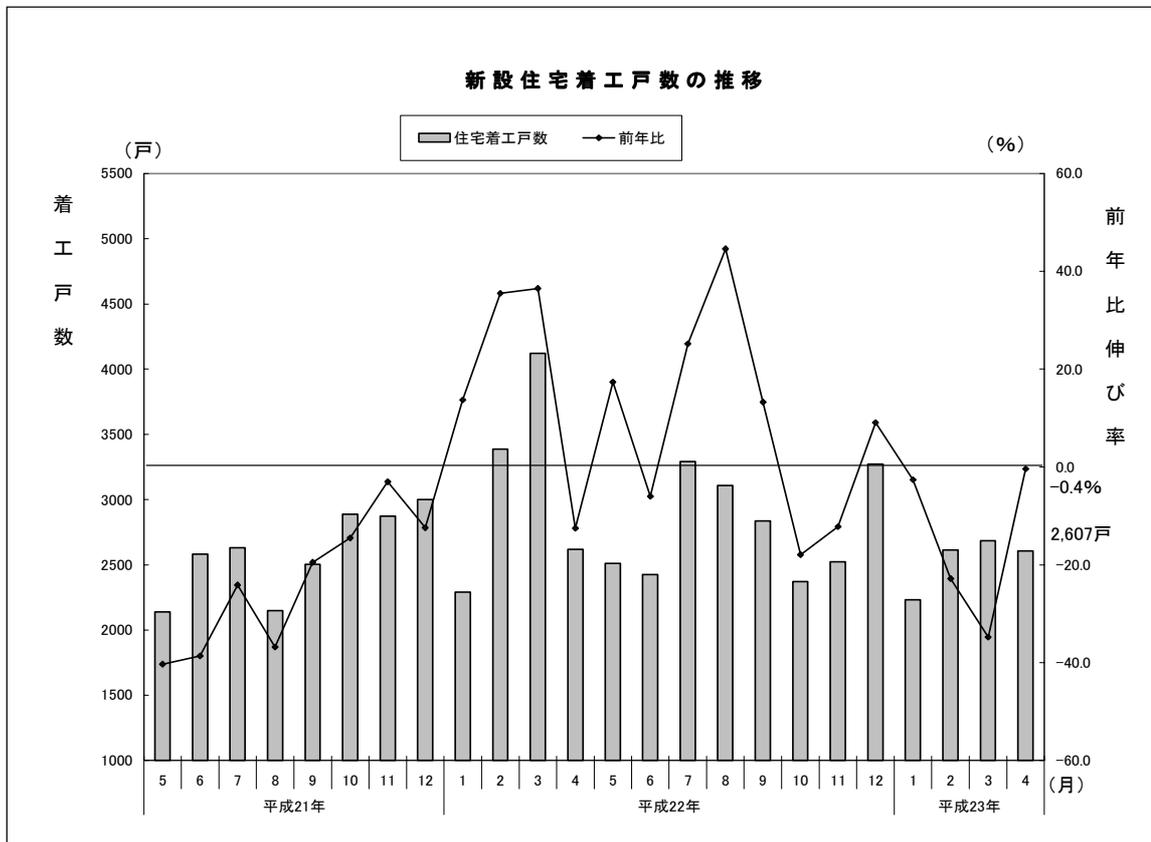
4月の地域別着工戸数

(戸)

地域	神戸	阪神南	阪神北	東播磨	北播磨	中播磨	西播磨	但馬	丹波	淡路	計
戸数	1,006	374	501	348	77	141	51	35	34	40	2,607
前月比	-8	-93	157	57	-22	-105	-40	8	15	-47	-78

資料：兵庫県住宅計画課

平成23年4月の新設住宅着工累計は、総数で2,607戸、前年同期比11戸の減少となった。利用関係別では「持家」が734戸(前年同期比4.3%減)、「分譲住宅」が1,231戸(同88.2%増)、「貸家」が617戸(同37.7%減)、「給与住宅」が25戸(同87.9%減)となった。



【公共工事】

5月の県内公共工事動向を西日本建設業保証(株)兵庫支店の前払金保証取扱状況で見ると、件数は219件で前年同月比9.9%の減少、請負金額は157億81百万円で同24.3%の減少となり、金額ベースで6か月連続で前年同月を下回った。

発注者別(金額ベース)にみると、「兵庫県」が前年同月比164.1%、「国」同58.6%の増加となったものの、「神戸市を除く市町」同80.5%、「その他の団体」同73.2%、「独立行政法人等」同49.8%、「神戸市」同28.8%の減少となり、前年同月を下回った。

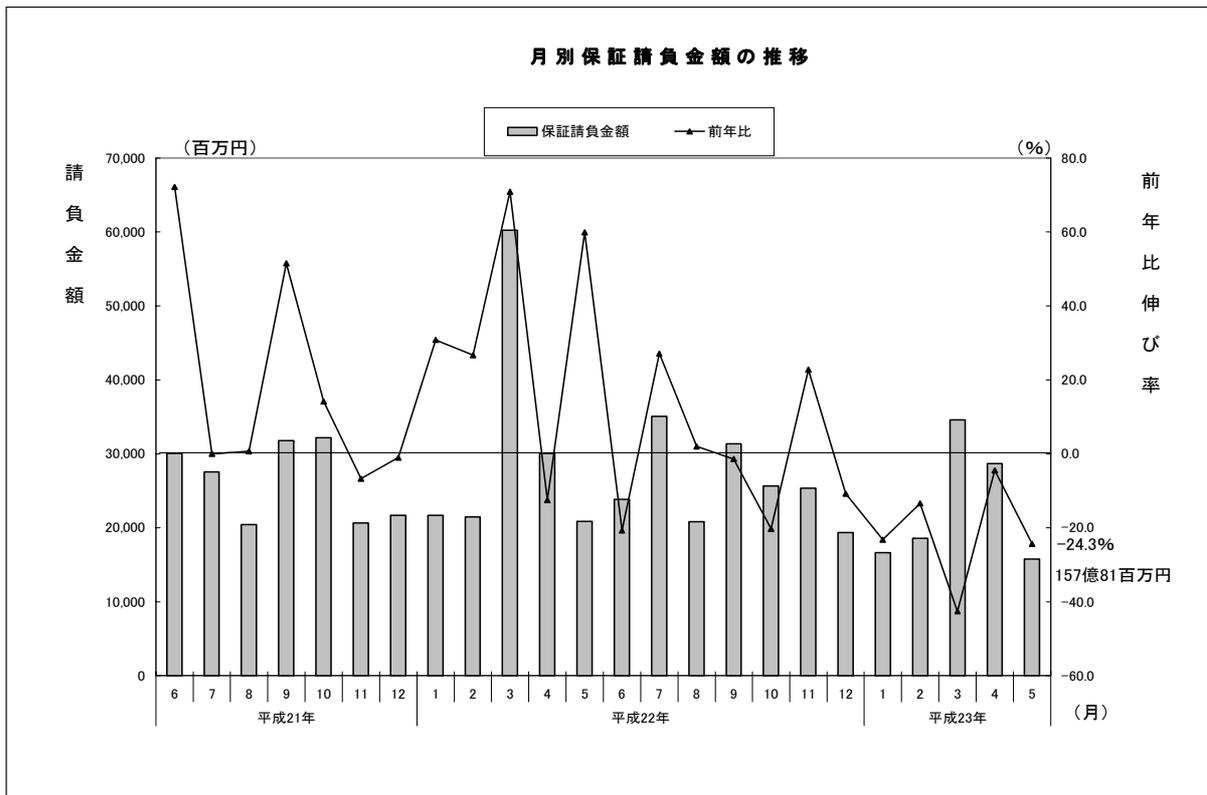
地域別(金額ベース)では、東播磨(前年同月比401.1%増)、淡路(同339.7%増)、但馬(同181.6%増)、丹波(前年同月比39.7%増)、中播磨(同39.1%増)で増加となったが、阪神南(同81.6%減)、神戸市(同61.5%減)、西播磨(同42.1%減)、北播磨(同26.7%減)等では減少となった。

5月の公共工事発注状況

金額単位未満切捨て、()内は前年同月比伸び率増減：%

発注者	件数	金額(百万円)	大型工事明細
国	15(7.1)	2,099(58.6)	和田山八鹿道路枚田トンネル工事
独立行政法人等	9(47.1)	1,527(49.8)	新名神高速道路切畑トンネル工事、 同 武庫川橋工事
兵庫県	90(26.8)	8,536(164.1)	円山川水系六方川排水機場改築工事、加古川小野 線東播磨南北道路A Bランプ合流部橋上部工事 県立淡路病院建築工事
神戸市	25(37.5)	1,307(28.8)	
神戸市を除く市町	71(23.7)	2,015(80.5)	
その他の団体	9(12.5)	294(73.2)	
合計	219(9.9)	15,781(24.3)	

資料：西日本建設業保証(株)



【貿易】

平成23年4月の神戸港貿易概況(速報)によると、輸出入総額は7,107億円、前年同月比5.5%の増加で、総額ベースで16か月連続の増加となった。輸出は、船舶などが減少したものの、重電機器、有機化合物などが増加した。一方輸入は、衣類及び同付属品などが減少したものの、たばこ、原動機などが増加した。

輸出は4,684億円(前年同月比2.7%増)と16か月連続で前年を上回った。

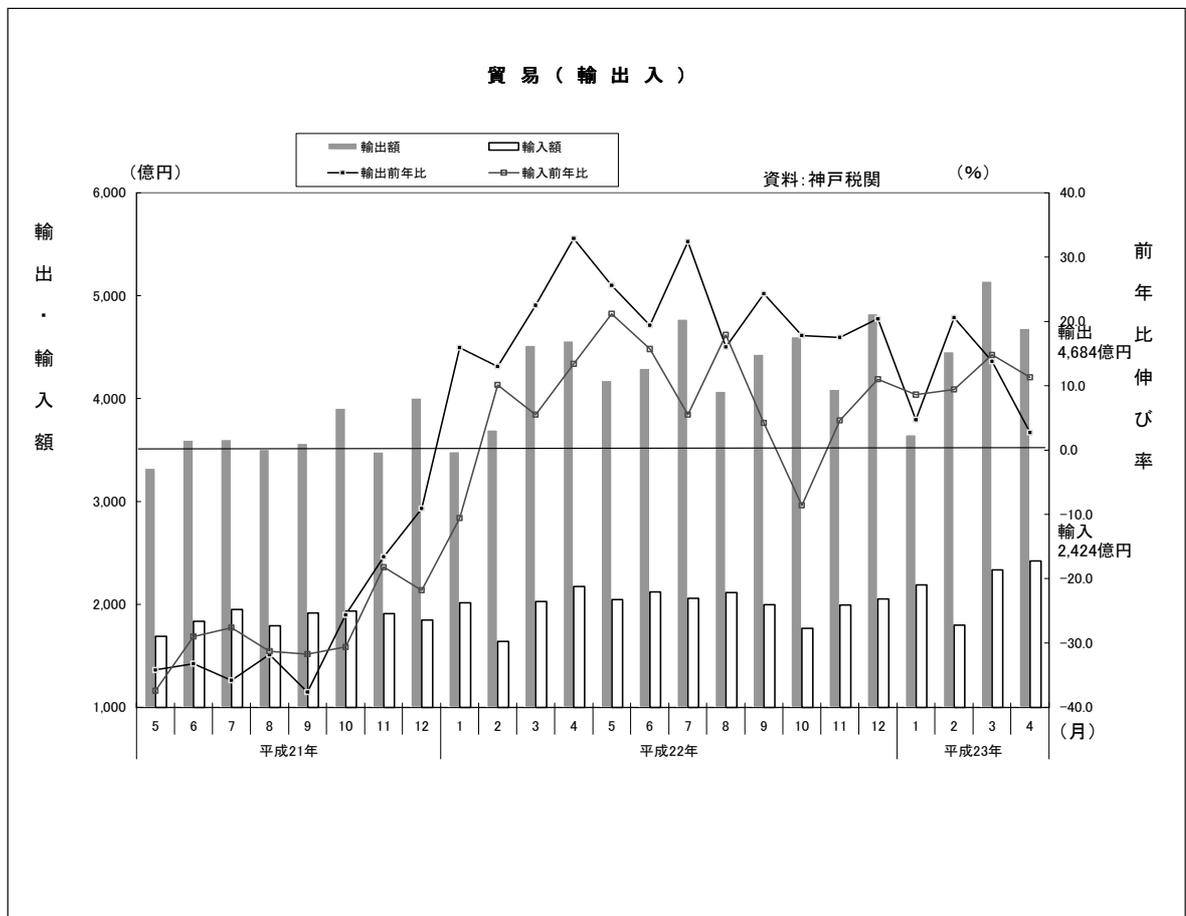
主要品目では、織物用糸及び繊維製品(前年同月比7.7%増、3か月連続プラス)、原動機(同1.3%減、3か月ぶりにマイナス)、プラスチック(同3.4%増、3か月連続プラス)、建設用・鉱山用機械(同15.5%増、16か月連続プラス)が増加した。

主要地域(国)別では、アジア(同8.1%増、3か月連続プラス)、中国(同9.4%増、3か月連続プラス)、米国(同4.7%増、16か月連続プラス)、EU(同14.8%増、10か月連続プラス)向けが各々増加した。

輸入は2,424億円(前年同月比11.3%増)と6か月連続で前年を上回った。

主要品目では、衣類及び同付属品(前年同月比18.8%減、10か月連続マイナス)が減少したものの、たばこ(同59.7%増、3か月連続プラス)、非鉄金属(同12.8%増、15か月連続プラス)、有機化合物(同39.8%増、15か月連続プラス)が増加した。

主要地域(国)別では、アジア(同1.2%増、6か月連続プラス)、米国(同23.4%増、3か月連続プラス)、EU(同36.9%増、2か月ぶりにプラス)向けが増加したものの、中国(同4.2%減、2か月ぶりにマイナス)向けが減少した。



【物 価】『消費者物価』

5月の神戸市消費者物価指数は、総合指数が99.6(平成17年=100)となり、前月比は0.1%の上昇、前年同月比は変わらずとなった。生鮮食品を除く総合指数は99.4となり、前月比は0.1%、前年同月比は0.5%上昇した。また、食料(酒類を除く)及びエネルギーを除く総合指数は98.2となり、前月比は0.3%上昇し、前年同月比は0.9%上昇した。

前月からの動きを見ると、野菜・海藻などの値下がりにより「食料」が0.5%、家庭用耐久財の値下がりにより「家具・家事用品」が0.6%、シャツ・セーター類などの値下がりにより「被服及び履物」が0.2%、などが下落した。しかしながら、家賃の値上がりにより「住居」が1.3%、電気代などの値上がりにより「光熱・水道」が0.7%、医薬品・健康保持用摂取品などの値上がりにより「保健医療」が0.1%上昇した結果、総合指数では前月比0.1%上昇となった。

5月の神戸市消費者物価指数(速報)

	総合	食料	住居	光熱 水道	家具 家事用品	被服及 履物	保健 医療	交通 通信	教育	教養 娯楽	諸雑費	生鮮食品を 除く総合	食料・エネ ルギーを 除く総合
指 数	99.6	100.8	101.7	103.6	87.0	97.5	98.1	97.7	98.9	94.5	105.7	99.4	98.2
前月比	0.1	-0.5	1.3	0.7	-0.6	-0.2	0.1	0.0	0.0	-0.1	-0.2	0.1	0.3
前年同月比	0.0	-2.7	2.8	1.7	-1.7	1.2	-0.3	-1.5	0.9	-0.8	5.9	0.5	0.9

(注)平成17年=100

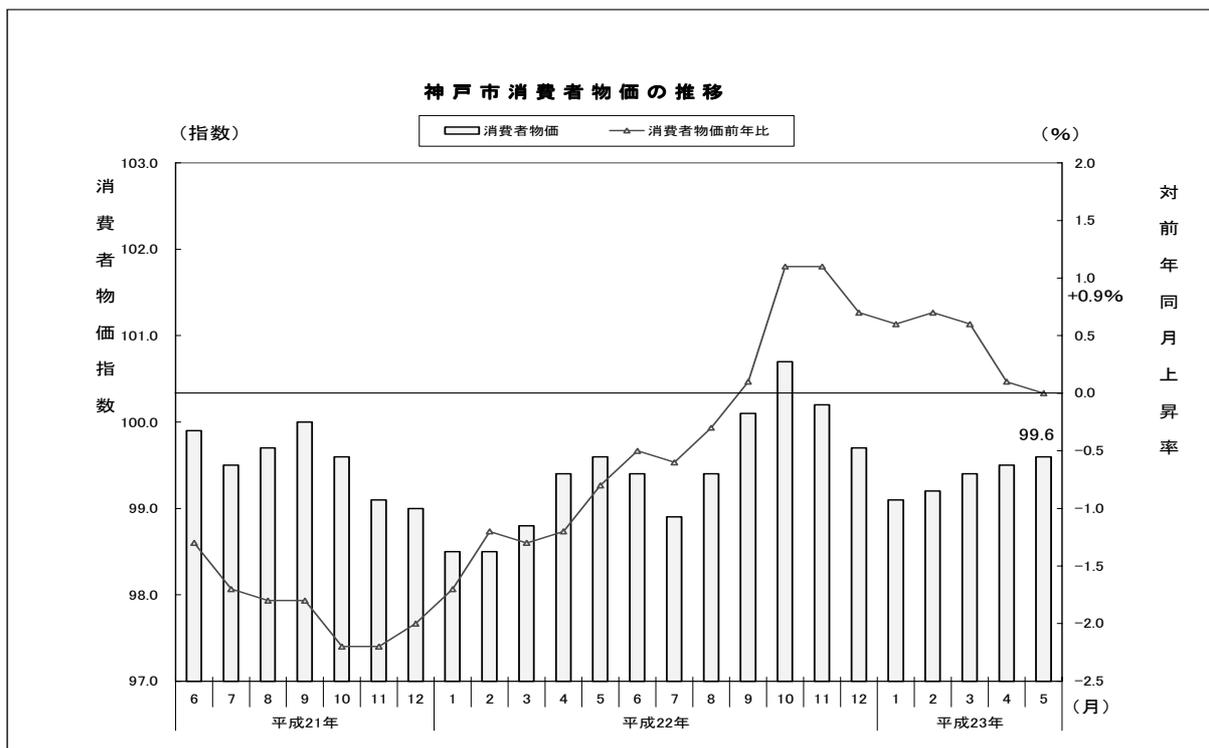
資料：兵庫県統計課

○対前月比値上がりした主な品目

- 家賃 (+ 1.4%)・・・民営家賃(木造中住宅)
- 電気代 (+ 0.6%)・・・電気代

対前月比値下がりした主な品目

- 野菜・海藻 (4.6%)・・・キャベツ、キュウリ
- 家庭用耐久財 (1.6%)・・・ガステーブル、電気冷蔵庫



【物 価】『企業物価』

日本銀行調査統計局が6月10日に発表した、企業物価指数(速報)による2011年5月の実績は次のとおり。

5月の企業物価指数

(速報、2005年=100)

	指 数	前月比(%)	前年同月比(%)
国内企業物価	105.5	0.1	2.2
輸出物価	86.0	2.2	2.9
輸入物価	121.9	0.2	9.5

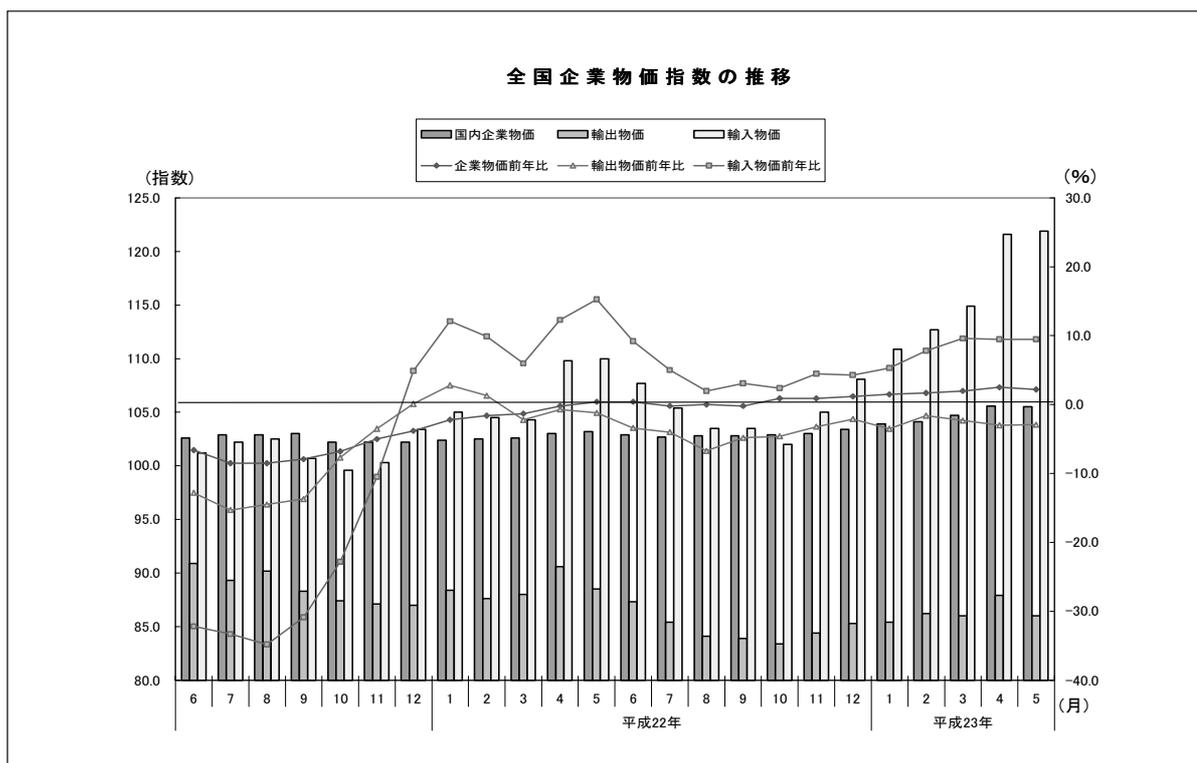
資料：日本銀行調査統計局

国内企業物価は、電力・都市ガス・水道（前月比+1.1%＜特別高圧電力など＞）、プラスチック製品（同+0.7%＜プラスチック硬質管など＞）等が上昇したものの、スクラップ類（同-4.0%＜鉄くずなど＞）、非鉄金属（同-3.3%＜銅地金など＞）、農林水産物（同-1.4%＜鶏卵、鶏肉など＞）、情報通信機器（同-1.2%＜携帯電話機など＞）等が低下し、全体では前月比0.1%の低下となった。

前年同月比では、新興国の需要増などを反映した資源高を受け、2.2%の上昇となった。ただ、足元は国際商品価格が下落に転じたうえ需要減による機械などの価格引下げもあり、上昇の勢いは鈍った。

輸出物価は、金属・同製品（前月比-3.5%＜銅地金、鉄くずなど＞）、一般機械（同-1.9%＜自動車用内燃機関・同部品、複写機など＞）、電気・電子機器（同-1.9%＜集積回路など＞）、輸送用機器（同-1.8%＜普通乗用車、小型乗用車など＞）等が低下し、円ベースでは前月比2.2%の低下（前年同月比-2.9%）となった。

輸入物価は、金属・同製品（前月比-3.8%＜銅鉱、ニッケル地金など＞）等が低下したものの、石油・石炭・天然ガス（同+4.5%＜原油、原料炭など＞）が上昇し、円ベースでは前月比0.2%の上昇（前年同月比+9.5%）となった。



【雇 用】

(1) 求人状況

県内4月の新規求人数(全数)は、21,430人(前年同月比0.4%増、前月比16.1%減)で、12か月連続して前年を上回った。また、月間有効求人数(全数)は60,960人(前年同月比13.9%増、前月比8.7%減)で12か月連続して前年を上回った。

雇用形態別(新規求人)にみると、一般常用では前年同月比4.3%増で14か月連続して前年を上回り、パートタイム(常用的パート+臨時的パート)については同7.5%減で12か月ぶりに前年を下回った。また臨時・季節では同57.3%増で6か月連続して前年を上回った。

さらに、新規求人を主要産業別にみると、建設業(前年同月比11.1%増)、製造業(同9.5%増)、情報通信業(同35.9%増)、運輸業、郵便業(同8.6%増)、生活関連サービス業、娯楽業(同5.7%増)、医療、福祉(同2.0%増)は前年を上回ったが、卸売業、小売業(同12.7%減)、学术研究、専門・技術サービス業(同4.1%減)、宿泊業、飲食サービス業(同2.3%減)、サービス業(同3.7%減)は前年を下回った。

(2) 求職状況

4月の新規求職申込件数(全数)は、33,591件(前年同月比7.4%減、前月比17.3%増)で、7か月連続で前年を下回った。また、月間有効求職者数(全数)は115,334人(前年同月比8.8%減、前月比6.1%増)で11か月連続して前年を下回った。

雇用形態別(新規求職)にみると、一般常用では前年同月比10.2%減で13か月連続して前年を下回り、パートタイム(常用的パート+臨時的パート)では同1.0%減で5か月連続して前年を下回った。また、臨時・季節については、前年同月比28.4%減で2か月連続して前年を下回った。

さらに、新規常用求職者(パートを除く)を就業・不就業の態様別にみると、無業者は前年同月比47.6%増で23か月連続して前年を上回ったが、在職者は同6.9%減で3か月連続して、事業主都合離職者は同22.2%減で16か月連続して、自己都合離職者は同15.6%減で11か月連続して、自営・他は同13.0%減で7か月連続して前年を下回った。

なお、雇用保険失業給付の受給者実人員は、23,656人(前年同月比17.5%減)で、14か月連続して前年を下回った。

(3) 求人倍率状況

4月の求人倍率(季節調整値)は、新規求人倍率が0.86倍で前月を下回り、有効求人倍率については0.58倍で前月を下回った。

(4) 失業者の状況

4月の全国の完全失業率(季節調整値)は4.7%で前月より0.1ポイント悪化、完全失業者数(原数値)は309万人(前年同月差30万人減)となった。また、近畿の完全失業率(原数値)は5.6%(前年同月より0.1ポイント減)で、完全失業者数(原数値)は57万人(前年同月差1万人減)となった。

産業別新規求人数の状況

(新規学卒者を除きパートタイムを含む)

	全 産 業	建 設 業	製 造 業	情 報 通 信 業	運 輸 ・ 郵 便 業	卸 売 ・ 小 売 業	金 融 ・ 保 険 業	不 動 産 ・ 物 品 賃 貸 業	学 術 研 究 ・ 専 門 ・ 技 術 サ ー ビ ス 業	宿 泊 ・ 飲 食 サ ー ビ ス 業	生 活 関 連 サ ー ビ ス ・ 娯 楽 業	医 療 ・ 福 祉	サ ー ビ ス 業
23年4月	21,430	1,450	2,550	333	1,460	3,446	176	398	627	1,730	1,056	4,987	2,465
前年同月比	0.4	11.1	9.5	35.9	8.6	12.7	23.1	17.8	4.1	2.3	5.7	2.0	3.7

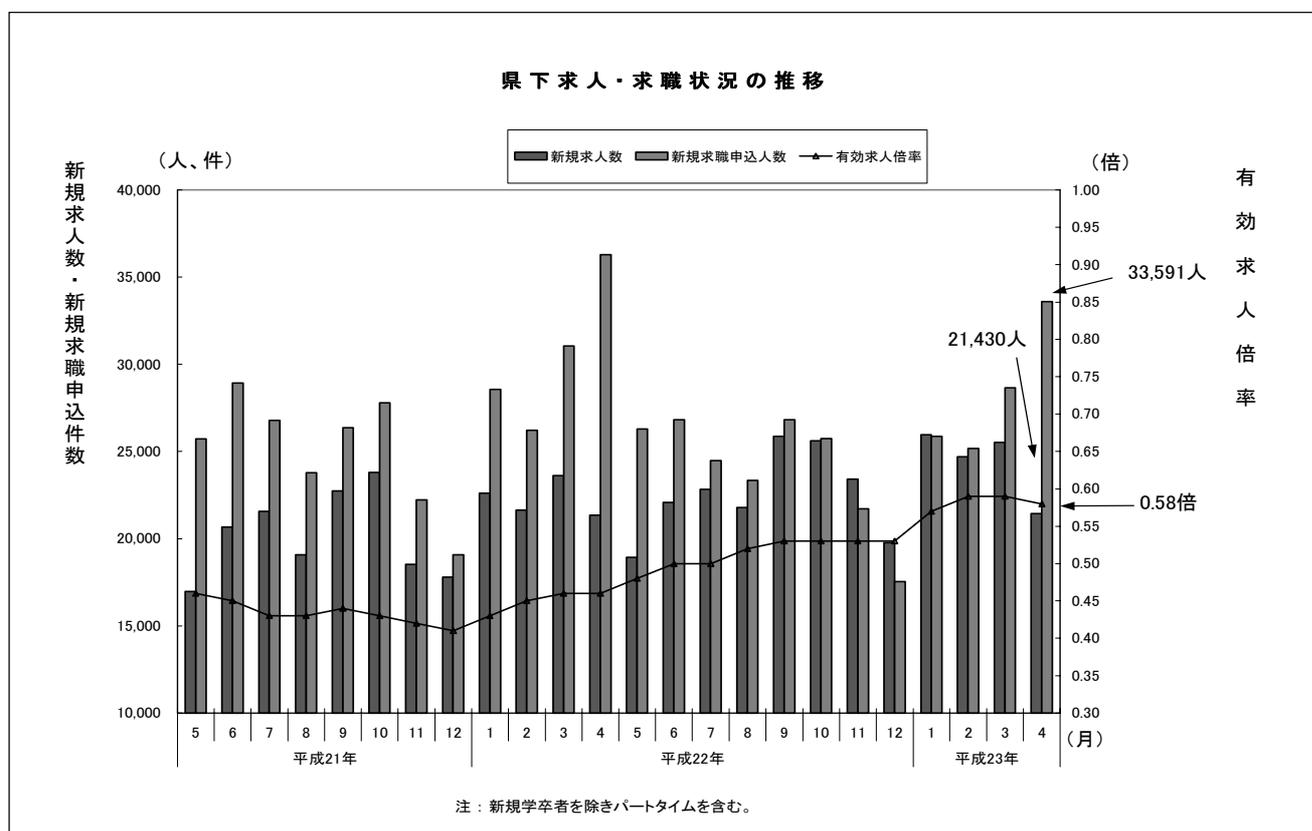
(単位：人、前年同月比増減率：%)

資料：兵庫労働局

雇 用 ・ 賃 金 の 推 移

項 目 ・ 年 月	10/4-6	10/7-9	10/10-12	11/1-3	11/2	11/3	11/4
有 効 求 人 倍 率 (季調済、倍)	0.48	0.51	0.54	0.58	0.59	0.59	0.58
新 規 求 人 数 (原数値、前年比%)	5.4	11.2	14.5	12.3	14.2	8.1	0.4
所 定 外 労 働 時 間 (規模5人以上、前年比%)	13.2	14.7	12.5	8.3	5.8	11.7	7.6
常 用 労 働 者 数 (規模5人以上、前年比%)	1.1	1.2	0.6	1.2	1.4	1.1	0.7
一 人 当 り 名 目 賃 金 (規模5人以上、前年比%)	0.7	0.0	1.7	0.4	0.3	1.7	1.1

資料：兵庫労働局、兵庫県県民政策部



【信用保証】

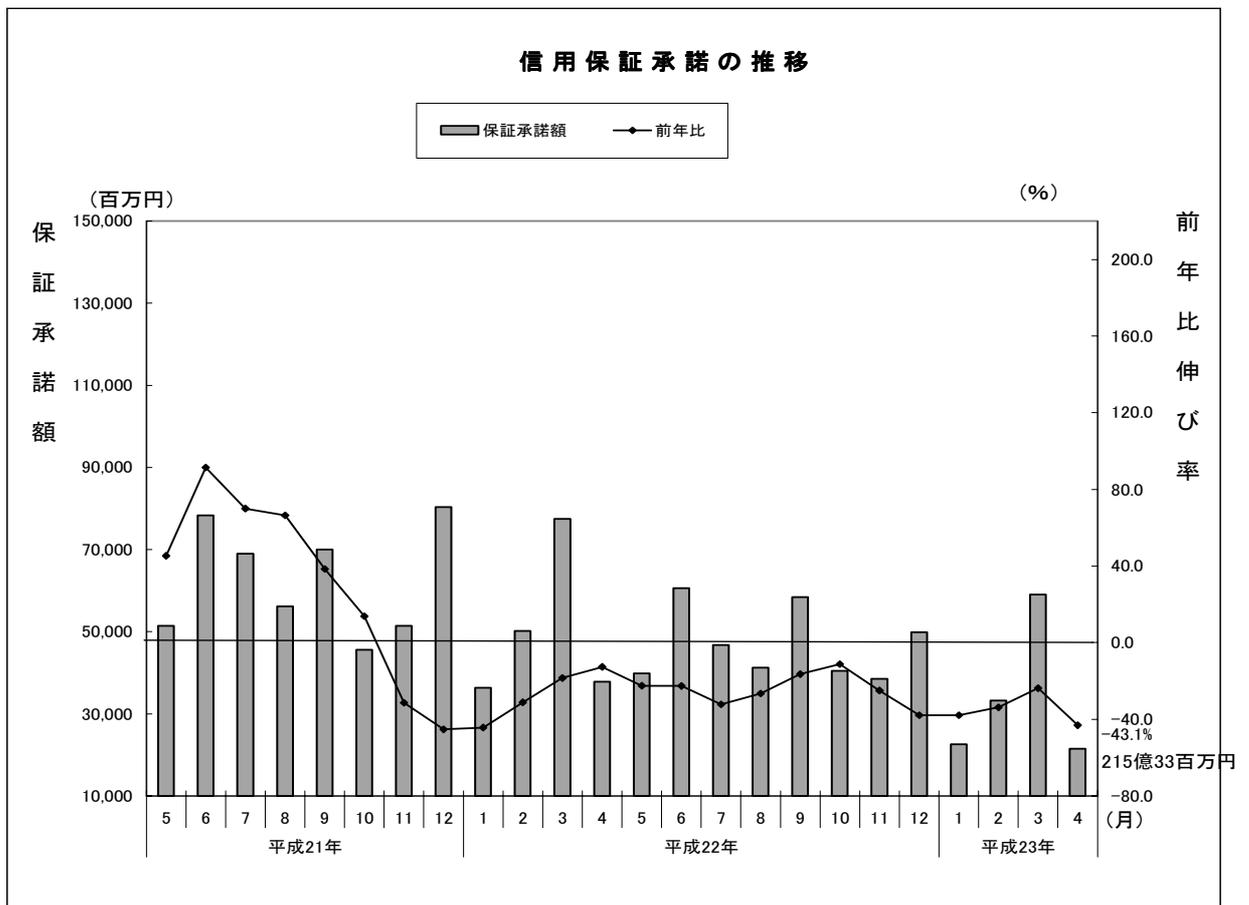
兵庫県信用保証協会による4月の保証承諾実績は、件数で1,732件(前年同月比27.7%減)、金額は215億33百万円(同43.1%減)となり、18か月連続で前年実績を下回った。

平成20年10月末導入の緊急保証制度の承諾が高水準で推移していた反動により、件数、金額とも連続減となった。

業種別(金額ベース)では、「製造業」4,405百万円(前年同月比29.5%減)、「サービス業」2,930百万円(同40.1%減)、「卸売業」3,843百万円(同43.7%減)、「建設業」5,810百万円(同45.8%減)、「運送・倉庫業」750百万円(同47.3%減)、「飲食店」505百万円(同47.6%減)、「不動産業」706百万円(同48.2%減)、「小売業」2,506百万円(同53.2%減)で前年同月を下回った。

一方、同月の代位弁済は、318件(前年同月比26.4%減)、36億20百万円(同25.8%減)となった。

4月末の保証債務残高は、117,994件(前年同月比2.1%減)、1兆4,462億円(同2.6%減)となった。



【金融】

4月末の県内金融機関の預貸金残高(日本銀行神戸支店調べ)は以下の通り。

(単位：億円、%)

	預 金	前年同月比	貸 出	前年同月比
都市銀行等	140,385	2.3	57,017	0.4
地方銀行	23,709	2.5	19,041	1.8
第二地方銀行	30,758	2.8	19,721	1.5
信用金庫	78,277	1.7	38,433	0.3
その他	16,635	5.6	16,965	2.5
計	289,764	2.4	151,177	0.4

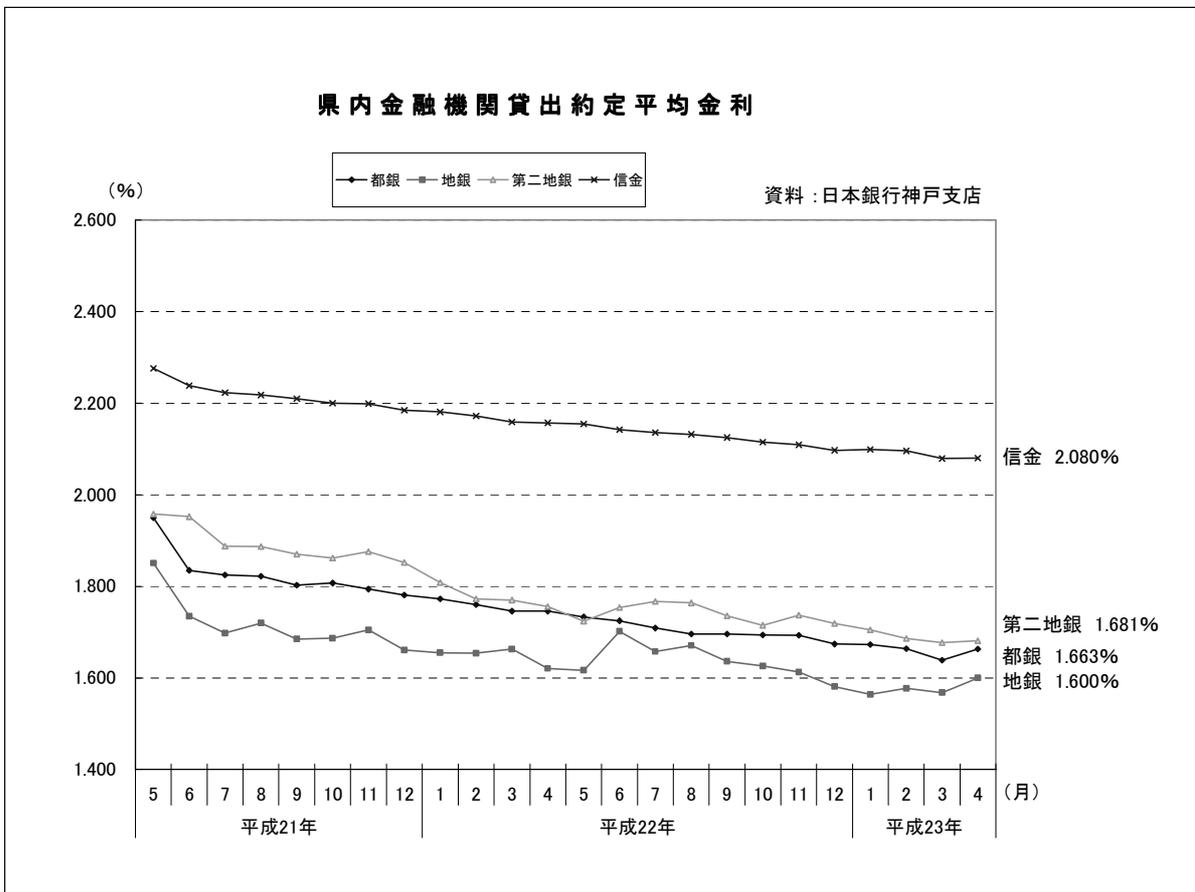
・都銀等 = 都市銀行、信託銀行、新生銀行、シティバンク銀行の計。

・その他 = 信用組合、労働金庫、商工中金、国民公庫、中小公庫の計。ただし、預金は国民公庫、中小公庫を除く。

4月の預金は、前年を上回って推移している。

4月の貸出は、前年を下回って推移している。

4月の貸出約定平均金利(ストックベース)は、僅かながら上昇した(4月末水準 1.804%、前月比+0.016%ポイント)。



【倒 産】

県内5月の企業倒産(負債総額1千万円以上、東京商工リサーチ神戸支店)は45件で前年同月比27.4%減少、負債総額は62億91百万円で同44.4%の減少となった。倒産件数は、年初1月の40件を基点として総じて3か月連続して緩やかながら増加傾向を辿ってきたが、当月は減少に転じて今年2回目となる40件台となった。一方、負債総額は、10億円以上の大型倒産が1件のみの発生に留まり、100億円を下回った。

原因別(件数)では、販売不振が32件(全体の71.1%)と前月比7件の減少ながら、当月もトップ。2番目は放漫経営で5件、次いで不良債権発生が4件と続いている。販売不振、赤字累積、売掛金回収難等の「不況型倒産」は33件と前月比8件の減少となり、構成比は73.3%と依然高い割合を占めている。

業種別(件数)では、不動産・サービス他業が15件(全体の33.3%)と最も多く、2番目は建設業12件、次いで食品業が6件、繊維・染色業が4件と続いている。

日本銀行神戸支店が6月27日に発表した「管内金融経済概況」では、「生産面を中心に下押し圧力がかった状態」にあるとしながらも、「震災後の落ち込みから徐々に脱しつつある」と前月の判断から引き上げた。

「資本金別」では、「1千万円以上」が20件と前月比4件の減少ながら前月に続いてトップ、次いで「個人企業」が12件、「1百万円以上」が10件となった。「産業別」では、「サービス・他業」が14件でトップ、次いで「建設業」が12件となった。

確かに、倒産件数自体は減少に転じ、今年2番目に少ない規模とはなったが、この内訳を見ると、依然として「不況型倒産」が圧倒的な割合にあり、「小口倒産」が常態化している点などを踏まえると、当月単月の状況のみならず、中長期に亘る動向を注意深く見守ることが肝要。3月11日に発生した東日本大震災関連の倒産は全国ベースで101件(平成23年6月3日現在)となり、今夏に予定されている「計画停電」、これに伴う大手の生産・操業面での影響等も踏まえていく必要があり、前述した諸点も鑑みると経営体力を落としている中小・零細企業を中心として、引き続き動向・推移を注意深く見ていかなければならない。

5月の原因別・業種別の倒産件数

(負債総額1,000万円以上)

原因別						業種別					
	当月	前月	前月比	前年	前年比		当月	前月	前月比	前年	前年比
放漫経営	5	4	1	8	-3	金属・機械・電気	3	9	-6	12	-9
過小資本	3	6	-3	3	0	化学・薬品	0	2	-2	0	0
連鎖倒産	4	5	-1	2	2	ゴム・皮革・ケミカル	1	2	-1	0	1
赤字累積	1	2	-1	3	-2	食品	6	8	-2	11	-5
販売不振	32	39	-7	41	-9	建設	12	13	-1	10	2
売掛金回収難	0	0	0	0	0	不動産・サービス	15	14	1	17	-2
その他	0	1	-1	5	-5	運輸・通信他	8	9	-1	12	-4
合計	45	57	-12	62	-17	合計	45	57	-12	62	-17

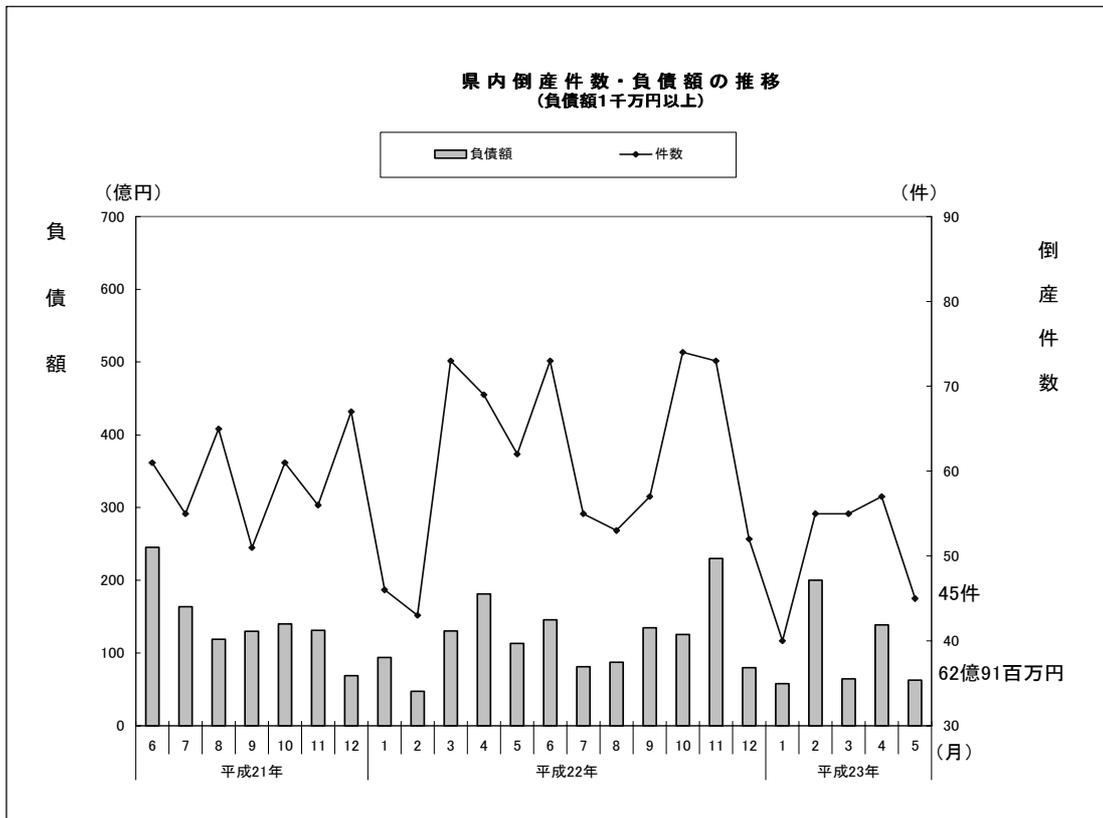
資料：東京商工リサーチ神戸支店

県下企業倒産件数地区別内訳 (負債総額1,000万円以上)

(単位：件数)

年 月	総数	神戸	阪神	西播	東播	但馬	丹波	淡路
18年 平均	50.4	16.0	16.2	5.8	8.3	1.7	1.3	1.1
19年 平均	59.3	21.3	13.6	8.3	11.3	1.8	1.3	1.7
20年 平均	62.3	20.6	19.0	7.9	10.6	1.8	1.3	1.1
21年 平均	62.6	21.6	18.5	9.8	9.1	0.9	1.1	1.6
22年 平均	60.8	20.8	20.6	9.0	6.9	1.4	0.7	1.4
23年 1月	40	6	15	7	10	2	0	0
23年 2月	55	16	14	14	6	2	2	1
23年 3月	55	16	20	12	5	1	1	0
23年 4月	57	21	17	6	10	0	2	1
23年 5月	45	14	17	3	7	1	1	2

資料：東京商工リサーチ神戸支店



県内主要経済指標

項目 年月	鉱工業生産指数(季節調整済)				公共工事請負金額			新設住宅着工戸数			
	兵庫県 (17年=100)		全国 (12年=100)		兵庫県		全国	兵庫県		全国	
	指数	前月比	指数	前月比	金額	前年比	前年比	戸数	前年比	前年比	
		%		(億円)		%		(戸)		%	
22年 1月	95.6	1.7	92.1	2.7	217	30.8	-3.8	2,291	13.7	-8.1	
2月	92.8	-1.3	93.7	-0.6	215	26.7	-8.8	3,387	35.5	-9.3	
3月	90.9	-2.1	94.8	1.2	602	70.9	-16.0	4,120	36.5	-2.4	
4月	94.3	3.8	96.0	1.3	300	-12.5	-0.1	2,618	-12.5	0.6	
5月	96.8	2.4	96.1	0.1	209	59.9	-5.9	2,511	17.4	-4.6	
6月	98.2	1.5	95.0	-1.1	239	-20.7	-5.8	2,426	-6.0	0.6	
7月	94.9	-3.6	94.8	-0.2	350	27.1	-8.8	3,293	25.2	4.3	
8月	97.9	4.2	94.3	-0.5	208	2.0	-8.4	3,107	44.6	20.5	
9月	95.6	-2.3	92.8	-1.6	314	-1.4	-18.8	2,836	13.3	17.7	
10月	95.3	-0.4	90.9	-2.0	257	-20.3	-18.1	2,372	-17.9	6.4	
11月	93.0	-2.3	91.8	1.0	254	22.8	-6.8	2,522	-12.2	6.8	
12月	96.9	3.9	94.8	3.3	194	-10.8	-18.1	3,273	9.1	7.5	
23年 1月	97.4	0.2	96.0	1.3	166	-23.2	-9.9	2,232	-2.6	2.7	
2月	101.3	4.1	97.9	1.8	186	-13.4	4.2	2,615	-22.8	10.1	
3月	r 95.8	-5.5	82.7	-15.5	346	-42.6	-3.5	2,685	-34.8	-2.4	
4月	p 97.8	2.1	84.0	1.6	287	-4.5	-11.2	2,607	-0.4	0.3	
5月					158	24.3	-14.1				
6月											
7月											
8月											
9月											
10月											
11月											
12月											
資料	兵庫県統計課		経済産業省		西日本建設業保証(株) 兵庫支店			兵庫県住宅地課		国土交通省	

* p は速報値 r は確報値

項目 年月	乗用車新車登録台数 (含む軽自動車)			百貨店売上高			輸出入状況(神戸港)				
	兵庫県		全国	兵庫県		全国 (既存店)	輸出		輸入		
	台数	前年比	前年比	金額	前年比	前年比	金額	前年比	金額	前年比	
		%		(億円)		%		(億円)		%	
22年 1月	13,089	29.8	24.9	202	-5.1	-5.7	3,487	15.9	2,016	-10.6	
2月	16,509	25.7	21.9	144	-9.2	-5.3	3,696	13.0	1,642	10.1	
3月	23,000	29.3	25.2	185	-3.5	-3.6	4,520	22.5	2,029	5.5	
4月	11,698	27.7	26.4	173	-3.9	-3.7	4,561	32.9	2,176	13.4	
5月	11,392	20.1	23.0	174	4.2	-2.1	4,179	25.6	2,047	21.2	
6月	14,759	17.1	18.1	175	-9.4	-5.7	4,297	19.4	2,122	15.7	
7月	16,129	10.9	12.9	219	3.6	-1.4	4,774	32.4	2,060	5.5	
8月	14,456	45.9	40.1	161	-2.0	-3.0	4,072	16.0	2,115	17.9	
9月	16,338	-6.2	-3.2	159	-5.1	-5.0	4,431	24.3	1,998	4.2	
10月	9,670	-29.8	-25.9	176	-1.2	0.6	4,606	17.9	1,771	-8.5	
11月	10,036	-31.3	-29.8	193	-0.2	-0.4	4,092	17.5	1,997	4.6	
12月	9,426	-26.9	-25.5	267	-1.3	-1.5	4,827	20.4	2,053	11.0	
22年 1月	10,161	-22.4	-19.0	199	-1.2	-1.1	3,650	4.7	2,191	8.6	
2月	13,994	-15.2	-13.8	153	-0.5	0.6	4,460	20.7	1,799	9.4	
3月	14,841	-35.5	-37.4	175	-5.4	-15.0	r 5,143	13.8	r 2,337	14.8	
4月	5,776	-50.6	-48.5	175	0.7	-1.8	p 4,684	2.7	p 2,424	11.3	
5月	7,635	-33.0	-33.3	167	-4.2						
6月											
7月											
8月											
9月											
10月											
11月											
12月											
資料	自販連兵庫県支部 兵庫県軽自動車協会			兵庫県百貨店協会		近畿経済 産業局	神戸税関				

* p は速報値 r は確報値

* 百貨店売上高の前年比は店舗調整後

項目 年月	有効求人倍率 (パートを含む)		県下常用労働者数 (30人以上,月末推計)		県下名目賃金指数 (定期給与,30人以上)		消費者物価指数 (17年=100)			
	兵庫県	全国	全産業 (千人)	前年比 %	指数 (12年=100)	前年比 %	神戸市		全国	
							指数	前年比 %	指数	前年比 %
22年 1月	0.43	0.46	999	-0.4	96.4	-2.9	98.5	-1.7	99.4	-1.3
2月	0.45	0.47	997	-0.6	96.7	-1.0	98.5	-1.2	99.3	-1.1
3月	0.46	0.49	993	-0.3	97.3	-0.7	98.8	-1.3	99.6	-1.1
4月	0.46	0.48	1,000	-0.9	98.1	-0.2	99.4	-1.2	99.6	-1.2
5月	0.48	0.50	1,003	-1.1	97.2	0.4	99.6	-0.8	99.7	-0.9
6月	0.50	0.52	1,002	-1.0	98.0	0.6	99.4	-0.5	99.7	-0.7
7月	0.50	0.53	1,004	-0.4	97.9	0.4	98.9	-0.6	99.2	-0.9
8月	0.52	0.54	1,002	-0.5	97.7	0.6	99.4	-0.3	99.5	-0.9
9月	0.53	0.55	1,003	-0.4	98.3	0.5	100.1	0.1	99.8	-0.6
10月	0.53	0.56	1,005	0.2	98.1	1.2	100.7	1.1	100.2	0.2
11月	0.53	0.57	1,007	0.2	98.3	0.6	100.2	1.1	99.9	0.1
12月	0.53	0.57	1,004	-0.1	98.0	0.7	99.7	0.7	99.6	0.0
23年 1月	0.57	0.61	1,001	0.2	96.5	0.1	99.1	0.6	99.4	0.0
2月	0.59	0.62	998	0.1	96.7	0.0	99.2	0.7	99.3	0.0
3月	0.59	0.63	996	0.3	98.5	1.2	99.4	0.6	99.6	0.0
4月	0.58	0.61	1,009	0.9	98.3	0.2	r 99.5	0.1	99.9	0.3
5月							p 99.6	0.0		
6月										
7月										
8月										
9月										
10月										
11月										
12月										
資料	兵庫労働局		兵庫県統計課				兵庫県統計課		総務省	

項目 年月	国内企業物価指数 (17年=100)		県下金融機関 貸出金残高		貸出約定 平均金利	県下企業倒産(負債1,000万円以上)				
	全国		金額 (各期末)	前年比 %	全国銀行 (年%)	件数 (件)	金額 (億円)	地域別倒産件数		
	指数	前年比 %						神戸	阪神	播磨他
22年 1月	102.4	-2.2	152,961	0.1	1.649	46	94	11	17	18
2月	102.5	-1.6	152,784	0.1	1.641	43	47	17	12	14
3月	102.6	-1.3	153,787	-1.0	1.623	73	131	24	25	24
4月	103.0	-0.2	151,763	-1.3	1.618	69	181	21	28	20
5月	103.2	0.4	152,195	-1.5	1.614	62	113	22	18	22
6月	102.8	0.4	151,049	-1.3	1.599	73	146	26	25	22
7月	102.8	-0.2	151,709	-1.2	1.597	55	81	12	21	22
8月	102.8	0.0	150,656	-1.2	1.588	53	87	20	14	19
9月	102.9	-0.2	151,553	-1.4	1.565	57	135	22	17	18
10月	102.9	0.9	151,406	-1.1	1.569	74	125	28	28	18
11月	103.0	0.9	150,620	-1.0	1.566	73	230	29	22	22
12月	103.4	1.2	152,555	-0.8	1.551	52	80	18	20	14
23年 1月	103.9	1.5	151,540	-0.9	1.547	40	58	6	15	19
2月	104.1	1.7	151,452	-0.9	1.539	55	200	16	14	25
3月	104.7	2.0	154,140	0.2	1.519	55	65	16	20	19
4月	r 105.6	2.5	151,177	-0.4	1.521	57	139	21	17	19
5月	p 105.5	2.2				45	63	14	17	14
6月										
7月										
8月										
9月										
10月										
11月										
12月										
資料	日本銀行					(株)東京商工リサーチ 神戸支店				

* p は速報値 r は確報値